

SNS投稿がきっかけとなる犯罪被害

～インターネットトラブル事例集より～



日常の出来事や楽しい思い出を、SNSを使って友達と共有したいと思う人はたくさんいると思います。しかし、外出中のことなどリアルタイムでSNSに投稿すれば、「今、自宅には誰もいないですよ！」と留守を公言しているようなものです。何気ない投稿が取り返しのつかない事態につながるよう、送信前に必ず読み返す習慣をつけましょう。

旅行先から写真をアップしたら



夏休みに、家族旅行に行ったSさん。仲良しへの暑中見舞いを送る代わりに……と思い、旅行先から写真やメッセージを自分のSNSに投稿しました。

自宅が空き巣に荒らされていた



帰ったら、家の中がグチャグチャ！留守にしている間に空き巣に入られてしまったのです。投稿内容から不在が知られてしまい狙われたとのことでした。

★注意点

- 公開範囲に気を付ける
非公開のグループトークや、SNSの非公開アカウントを賢く活用すれば、あなたが許可した人だけしか読めないのが安心です。
- 投稿内容やタイミングを考える
個人が特定される危険を考え、スタンプやボカシを上手に使ったり、公開は帰宅した後、というような工夫を考えましょう。
- 悪い人の目線で想像する
自分の投稿が、悪いことをしようとする人の目に留まる可能性があることを常に意識しましょう。
誰が読んでもいい内容に留めるのが1番安全な方法です。

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2021年版）」

https://www.soumu.go.jp/main_content/000707803.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745（直通）

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

子どもの安全安心に関する情報を
ツイッターで発信しています →

